

1枚の年賀状がつなぐ「絆」の物語をお届けします
挨拶状ドットコム「第4回 年賀状思い出大賞」
～3月27日 結果発表のお知らせ～

「挨拶状ドットコム」を運営する株式会社にっこう社(所在地:大阪市西区、代表:徳丸博之)は、年賀状にまつわる思い出・エピソードを全国から募集する「第4回 年賀状思い出大賞」の受賞作品を、3月27日ウェブサイトで発表いたします。

今年も全国から年賀状にまつわる思い出が続々！

震災後の「絆」を感じるエピソードが応募作品に増加

挨拶状ドットコムでは、年賀状を「人との繋がりが感じられる価値ある日本の文化」と捉え、2008年より「年賀状思い出大賞」の企画をスタート。本年で4年目を迎えました。

昨年は大きな災害があり、日本中が「絆」の大切さを改めて実感した一年でした。そんな中、人々はどんな想いを年賀状に込めたのか、受け取った年賀状に対して何を感じたのかを知ることができる受賞作品が数多く集まりました。審査を経て、3月27日に「挨拶状ドットコム」WEB上で大賞および優秀作品を発表いたします。

当たり前のように受け取った1枚が、人の心を動かし思い出に変わる瞬間をぜひご覧ください。



今回の応募数は 1017 作品
累計募集作品は述べ 3700 作品に

●エピソードを形に

年賀状の素晴らしさを、若い世代にも伝えていくため、2008年～2009年の応募作品(約1700作品)から65作品を厳選し、『年賀状のちから』と題し書籍化しております。今後も多くの方に知っていただけるよう活動してまいります。

【報道ご担当者様へ】

過去の作品をご覧になりたい方は、お問い合わせ頂きますと、書籍『年賀状のちから』をお送りさせていただきます。



書籍『年賀状のちから』

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社にっこう社 担当者 小松・豊

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-5-6 本町辰巳ビル4F

TEL 06-6450-8029 / FAX 06-6450-8129 / E-mail: main@nikkoprint.com

思い出大賞結果発表

検索



大賞

黒川 康子

今から三十年前、当時中学一年生だった私は、ある牧場の寮に住み込み、動物の世話をしながら地元の学校に通っていました。自分から心を開く事ができず、友達が一人も居ない私が環境の変化で少しでも変わらないかと両親に勧められたのでした。

相変わらずひとりぼっちで、いつの間にか迎えたお正月。ふと見ると私のポストボックスには明らかに他の子よりぶ厚い年賀状の束が入っています。うらやましそうな顔でひそひそ言っている仲間をしりめに、急いで自分の部屋に戻り束をあけました。一通一通趣向をこらした年賀状五十通はすべて母からでした。差出人を私の好きなアニメキャラクターにしたり、動物にしたり、相当な力作でした。どれも愉快的な内容なのに、私は涙があふれて止まりませんでした。

母はもう他界しましたが、その年賀状は私の宝物。毎年お正月にひっぱりだして見なおしては母を想うのです。